

2015年度早稲田大学受領者代表学位記授与式

千信一氏 ～名誉博士学位贈呈挨拶～

本日、栄えある授与の機会を与えて頂きました鎌田総長並びに学校関係者の皆さま、そしてご来臨を賜りました来賓の皆様に深く感謝を申し上げます。そして卒業生の皆様、本日は誠にありがとうございます。

私が本日このように全世界において最も立派な大学である早稲田大学の卒業式にて、本自身に余る“名誉法学博士学位”を授かりましたのは大変光栄であり、人生最大の喜びであります。私が本日授与されました名誉博士学位は、早稲田大学と高麗大学との友情と協力関係を永遠に象徴するものと思っております。

私は情報技術分野のIT企業と旅行会社そしてエンジニアリング会社を経営する世中グループの会長として、事業報国並びに文化中興の一念にて一生涯を送り世界で初めて石造博物館を2000年より運営しております。

卒業生の皆さま、これから皆さまは新たな人生の舞台に旅立たれますが、これから皆さまの人生において様々なドラマが展開されるという予告であります。早稲田のキャンパスにて既に体得されたリーダーシップにて、時代の中心軸になる皆さまに人生の先輩として私自身が人生において経験し感じ悟りました幾つかの教訓と知恵を皆さまと分かち合い、またアドバイスしたいと存じます。

先ず最初に生きる術について申し上げます。

人間が生まれ人生を営むには沢山の要素がありますが、これらを集約した単語で表現するならば“喜”“怒”“哀”“楽”という四文字で表現できることでしょう。

喜びと怒り、悲しみと楽しみの狭間で、時には希望と喜びの涙、時には言葉で表現できないほどの苦難と逆境に挫折する人生が繰り返されるのが我々の人生であります。苦難と逆境に対し皆さまは如何なる場合においても避けずに挑戦してください。挑戦することにより苦難と逆境を克服し、人生を正しい道に導く出発であることを我々は悟り実践しなければなりません。

今日が引き潮のように荒涼であってもがっかりしないでください。必ず満ち潮になる時が来ます。今が下り坂だと絶望しないでください。下り坂が終われば上り坂があり高い場所へと上がれるので決して諦めないでください。夜が更ければ直ぐに夜明けが来るので希望を捨てないでください。

世の中で最も重要な出来事は、振り返ってみますとその殆どは望みが無いように見えたのが、最後まで諦めず努力した人により成し遂げられております。風が吹かないとき風車を回す方法は前に走ることです。

二つ目は、常に一緒にいる“友達”を作ってください。

清廉且つ成功の象徴として記憶されている立派な先輩たちの成功の原則は、“意志が強く善良な人々を友人や同僚とするように”とっております。また、他の立派な経営者も“私は私が好まないか尊敬に値しない人とは付き合わないと言いますが、どんな人と出会うという事は結婚と同じくらい大事な問題だと思えます”とっております。

信頼且つ強い絆の友情で結ばれた友人が多い人は希望に満ち幸せに活気のある人生を生きていく機会が多いでしょう。言葉を交わさずとも心が通じ、お互いに話さずとも助けあう友人が皆さまの周囲に多く存在し、皆さまもそのような友人になれる存在でありますことを願うばかりです。

三つ目は、人生において最も大事な健康な人生と共に熱心に奉仕活動をする事です。

弛まない献身と努力により富裕な人生を築いたとしても、その人生が成功したと断言するのは難しいでしょう。成功した人生とは即ち健康な営みから始まるからであります。健康な営みから喜びを共に分かち合い奉仕をすることが最も重要であると考えます。

奉仕活動はある特定した人や集団、そして時間と物質的に余裕がある人のみができる特別な活動ではなく誰でも、いつでも、どこでも、如何なる方法でも始められる活動であります。奉仕と分かち合いを実践しながら奉仕の本当に意味を悟り、奉仕の喜びを皆さんと共に分かち合えます事を願う次第であります。

尊敬します卒業生並びにご来賓の皆さま！花の香りは十里を歩き、言葉の香りは百里を歩きますが、施しの香りは千里を歩き人柄の香りは万里を歩くとされております。ご自身の香りが千里万里まで轟きますよう素晴らしい未来を作り上げて下さい。

最後に申し上げます言葉として

“人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし”という徳川家康の名言のように卒業生の皆さまにおかれましては、何をするにもその分野において日本は勿論のこと全世界において最高になるという弛まない努力と決心を誓われますことを願う次第であります。

本日、早稲田大学の名誉博士学位を戴きました私は、より広い眼目にて世の中を見て早稲田大学と高麗大学の友情を増進させ、これからの韓国と日本両国の絆を強めるにあたり、微力ではございますが、最善を尽くし努力することをお約束いたします。

最後に尊敬いたします鎌田薫総長並びに学校関係者の皆さま、輝かしい卒業生の皆さまそして父兄並びにご家族の皆さまに、もう一度皆さまの卒業と新たな出発をお祝い申し上げます。誠にありがとうございました。